

『季節の宅配便』



“みかん”と“こたつ”は古くからの親友？

みかんの出荷量は近年、全国的に減少傾向にあるようです。今回は、“みかん”と正月に欠かすことのできない“こたつ”との不思議な関係についての興味深いデータをご紹介します。

電気こたつの国内生産台数とみかん(ウンシュウミカン)の出荷量



“こたつ”の上に“みかん”が並ぶ光景は最近すっかり見かけなくなりました。その一因として核家族化や生活の洋風化が考えられます。

左の図は、“みかん”の出荷量と“こたつ”の生産量を表したもので、“こたつ”の国内生産台数の減少と共に、“みかん”の出荷量が減少していることがわかります。

最近では、皮をむくのが面倒、手が汚れるという理由で、若者を中心に“みかん”の生食離れが進む一方、ジュースやジュレのような加工品販売が増加しており、時代の変化を感じさせられます。

湯浅農場では、“みかん”そのままのおいしさを味わっていただくためジュース(右写真)を作っています。農場は今後も、“みかん”の美味しさを極める栽培法や柑橘の有用性に関する研究に注力していきます！



無添加みかんジュース
「100%近大です。」